科目名	公民Ⅱ CivicsⅡ			担当教員	田口　淳		
学　年	３年	学　期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分　野	一般	授業形式	講義	科目番号	13120025	単位区分	履修単位
学習目標	心理学を通して人間に対する理解を深めるとともに，先哲の思想を学ぶ中で，社会人としての人生観・世界観・価値観の形成を目標とする。						
進め方	講義形式を基本とする。要点は板書もしくはプリントを配布しながら進めていく。 適宜，簡単な心理テストの実施，また討論や視聴覚教材を通して，各自の思索が深まるようにする。						

学習内容	学習項目（時間数）	学習到達目標
	０．「倫理」とは？(2) １．青年期の課題と自己形成 (1)青年期の意義(6) (2)青年期の課題と生き方(6)	倫理社会で何を学ぶのかが理解できる。 青年期の特徴を理解するとともに，青年期に生きる自分自身の課題を明確にすることができる。 学習・教育目標：(A)
	[前期中間試験](2)	
	＊試験返却・解説(1) ２．人間としての自覚 (1)哲学と人間 ・哲学すること(1) ・哲学の動機(2) ・ギリシャの思想(10) 自然哲学者, ソフィスト, ソクラテス, プラトン, アリストテレス, エピクロス ゼノン	哲学することの意義が理解できる。 哲学の定義及び動機について理解できる。 理性を重視した古代ギリシャの哲学思想・倫理思想の基本的な内容が理解できる。 学習・教育目標：(A)
	前期末試験	
	＊試験返却・解説(1) ・中国の思想(5) 諸子百家, 孔子, 孟子, 荀子, 老子 荘子，朱子，王陽明 (2)宗教と人間 ・宗教とは？(1) ・ユダヤ教(2) ・キリスト教(5)	中国古代の思想の流れと基本的な倫理観が理解できる。 宗教の本来のあり方や必要性が理解できる。 ユダヤ教・キリスト教の基本的な教義及び倫理観が理解できる。 学習・教育目標：(A)
	[後期中間試験](2)	
	＊試験返却・解説(1) ・イスラーム(3) ・バラモン教(2) ・仏教(8)	イスラーム，バラモン教，仏教の基本的な教義及び倫理観が理解できる。 学習・教育目標：(A)
	後期末試験	
	試験返却・解説(1)	

評価方法	評価の内訳は，レポートの提出状況 10%，定期試験 90%とする。 四半期ごとの全体評価への重みは，すべて各 25%ずつとする。
履修要件	特になし
関連科目	歴史Ⅰ（１年）→ 歴史Ⅱ（２年）→ 公民Ⅱ（３年）→ 人文科学Ⅱ（４年）
教　材	教科書：平木幸二郎 他著『倫理』　東京書籍
備　考	担当教員への連絡先 TEL：０８７－８６９－３８４２，E-mail： taguchi@t.kagawa-nct.ac.jp